

放送番組審議会議事録

1. 2022年12月15日(火)
2. KTS別館(鹿児島シティエフエム株式会社 2F会議室)
3. 委員総数 5名
出席委員数 4名
出席委員 三島盛武、南徹、中尾成昭、前田真理
放送事業者側出席者 金子貴治、遠藤陽子(番組パーソナリティー)、川原忠文
4. 番組審議
「イブニングレディオ」毎週水曜日 17:00～19:00
(18:00～18:15は別番組のため除外)
5. 別紙参照
6. 自社放送 : なし

<議 事>

番組名： 「イブニングレディオ」

放送日時：毎週水曜日 毎週水曜日 17：00～19：00

パーソナリティ 担当の水曜日は、音楽をできるだけたくさんお届けし、映画情報やライブ情報などをピックアップ。週の中日であることから、週末に向けてリスナーの方へちょっとした日常の中の楽しみを提供できるような番組作りを努めています。番組の中で流す曲は、よく耳にするヒット曲ではなく、幅広いジャンルの中から少し埋もれたような曲をセレクトしています。

委員 番組終了間際リスナーさんへのコメント返しも素晴らしかったです。前半は情報過多の内容で、パーソナリティさん自身が少し大変なのでは？という印象を受けました。全体的に週末へ向けての糧になるような情報がとても多く、おはら祭り前夜祭中の番組ということもあり、交通情報や市電の運行情報などが盛り込まれていて、これこそシティエフエムならではの感じました。

委員 おちゃめなトークをされる素敵なお方だなと感じました。情報過多な印象を受けたので、情報のセレクトまたはどこに重きを置くのかなど、上手に時間配分するともっと良い番組になるのではないのでしょうか。また、トーク中のBGMで聞き取りにくい箇所があったため、もう一度見直してみてもよいかもしれません。

大切なのは、映画「人生ドライブ」は家族をテーマにした内容であるため、遠藤さんが考える家族の定義をまずお話されてから内容に切り込んでいった方が分かりやすい気がしました。古き良き時代と現代の家族の違いを触れても面白かったと思います。このプログラムをもう1度分析してお話されたら、きっとみんながチャンネルをひねりたくなるような内容の番組になるかと思います。

委員　　今まで審議した番組の中で自分から発信したいという熱量を最も感じた番組でした。自分のお話と映画の内容とがマッチしていて、声質も明るくテンポがあって前向きなので、聴いていて勇気をもらえました。番組の構成的には良かったと思うのですが、インタビューよりも遠藤さんの話の方が多い印象を受けたため、もう少しインタビューの方の声を拾ったほうがよいのでは？と感じました。ですが、遠藤さんの感動した気持ちが伝わるという意味では良かったと思います。3回映画をご覧になったとのことでしたが、その経緯に関してお話されても良かったかもしれません。

委員　　導入のお話ですが、作家・松下竜一の作品の中に似た内容があり、そのことと結びつけてお話されたら、深みが出たように感じます。何か番組を放送する時や構成をする際には、方々にアンテナを張って情報収集すると良いです。今の子どもたちに欠けていることは、関連性や有機的な結びつきであるように思います。知識としては知っていてもそれが結びつかない。様々なことと関連づけて話をする、印象に残りやすくなります。